

[001]九州大学応用力学研究所所報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4785222>

出版情報：応用力学研究所所報. 1, 1952-06. 九州大学応用力学研究所
バージョン：
権利関係：



發 刊 の 辭

我々の應用力學研究所は流體工學研究所（1942年創設）と彈性工學研究所（1943年創設）とを合併して九州大學の附置研究所として1951年より出發した。

既に合併以前にこれ等各々の研究成果を纏めて流體工學研究所報告七卷，彈性工學研究所報告七卷を發表して居る。

本研究所の研究は元來，應用力學全般をその對象とする事を將來に期待して居るが，現在はその規模の内容より，差し當り流體工學と彈性工學とが主たる研究の對象となつて居る。

應用力學が應用科學に關係ある一般産業の進歩に極めて重要な學問である事は勿論であつて，我が研究所も九州大學の工學部，農學部等と密接な關連を保ちつゝ研究を進める使命を持ち，此線に添つて日夜研鑽に努めて居る。

合併後に於ける所員の研究を纏めて，此處に應用力學研究所所報第一號を發刊する事となつた。

所員各位の勞を多とすると共に，幸にして國內，國外の研究者技術者各位の御鞭撻を希望して俟まない。

昭和27年4月1日

應用力學研究所所長 渡 邊 惠 弘